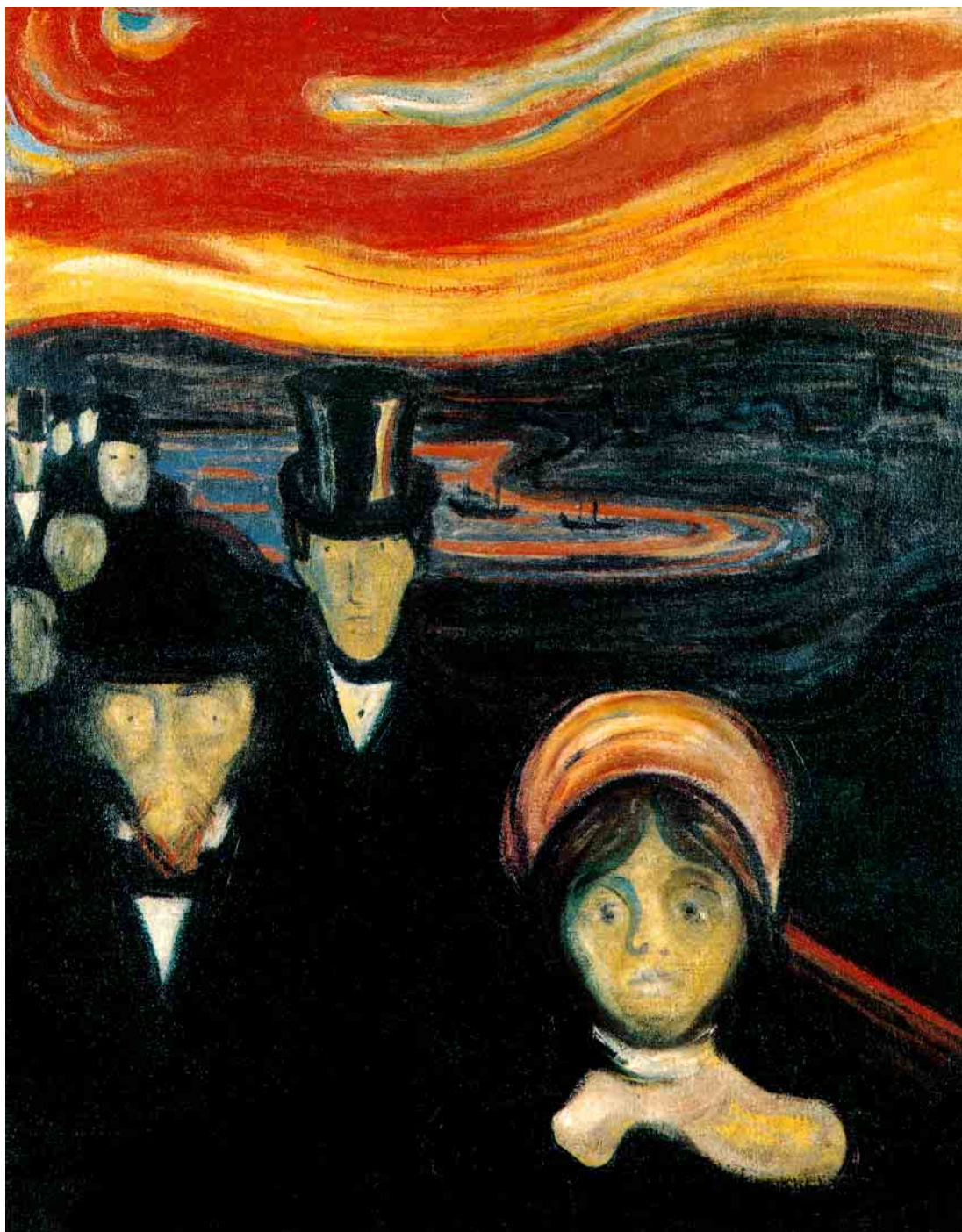


# いぶせん

ノルウェーの劇作家ヘンリック・イブセン没後100年

IBSEN 2006

演出助手Ⅱ中川順子  
美術Ⅱ内山勉  
衣裳Ⅱ樋口藍  
制作助手Ⅱ栗原暢隆  
制作Ⅱ名取事務所  
プロデューサーⅡ名取敏行



キャストⅡ塩田朋子・中寛三・武正忠明・植木圭・大庭藍

後援Ⅱノルウェー王国大使館

2006.11.22 (wed) ▶ 26 (sun)

イブセン現代劇連続上演 第7作

イブセン/作  
毛利三彌/台本・演出

ゆうれい

—三幕の家族劇—



平成18年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

名取事務所+シアターX 提携公演



Edvard Munchs skisser til "Gengangere"



近代リアリズム演劇の最高峰『ゆうれい』は、長く、陰鬱な問題劇の印象を与えてきた。だが、記念式典を控えた華やいた雰囲気の中、まだまだ女盛りのアルヴィング夫人は、かつて恋した牧師マンデルスに戯れ、帰郷した息子オルヴァルは、女中のレギーネといちゃつく。食わせ者の大工エングストランも加わって、外のしとしと雨とは対照的に、館の中は最後までドタバタ場面。だからといって深刻な問題がないのではない。華やかな外面は裏に名状しがたい残酷さと不条理をはらむ。腐敗は亡夫の体だけでなく、家族の内面を、男女関係を、社会道徳を密かに浸食していた。表と裏の乖離。今日この日本でも高じつつある現代社会の偽善性が、舞台上で白日にさらされる。それで夫人は息子を殺すのか！



塩田 朋子  
(文学座)



中 寛三  
(俳優座)



武正 忠明  
(俳優座)



榎木 圭  
(劇団銅鑼)



大庭 藍  
(俳優座)

イブセン・イヤー2006 www.norway.or.jp/ibsen/

協力 = (有) 東京舞台企画・(有) juin 2004  
特定非営利活動法人 舞台21  
俳優座・文学座・劇団銅鑼

日時指定・全席自由

11月	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)
13:30	—	○	—	○	○
14:00	—	—	○	—	—
19:00	○	—	○	—	—

開演時間にご注意下さい。開場は開演の45分前です。

2006.11.22(wed) ▶ 26(sun)

入場料 前売り=4,500円 当日=5,000円 学生=2,000円 (当日学生証提示)

前売り・お問い合わせ

チケットぴあ 0570-02-9988 (演劇専用)

名取事務所 Tel&Fax 03-3952-8791

〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-10-9 MIYAMA ビル 503

http://www.nato.jp/ (お客様窓口よりチケットのお申し込みが出来ます)

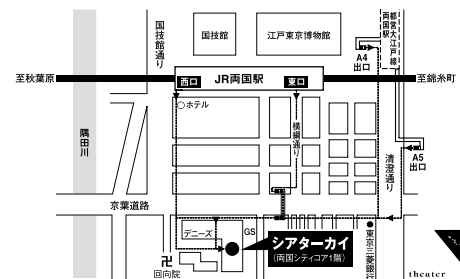
お電話の際はお名前ご連絡先を必ずお知らせください。折り返しこちらからご連絡させていただきます。

[チケットのお申し込みは、出来ましたら、お名前、ご住所、電話番号と、ご希望日時・枚数を明記の上、Faxにてお願いいたします。]

チケット代金振込先 = (有) 名取事務所

郵便振替 口座番号 00120-4-182879

銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 押上駅前支店 (当) 197990



〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14

[JR 総武線両国駅から徒歩約3分]

[地下鉄都営大江戸線両国駅A5出口から約8分]



# イブセン戯曲選集 北欧演劇論

現代劇全作品

毛利三彌訳 19世紀ヨーロッパが生んだ最大の劇詩人イブセンの「人形の家」以降の全作品を網羅する、ノルウェー語原典からの毛利訳。「人形の家」「ゆうれい」「人民の敵」「野がも」「ロスメルスホルム」「海の夫人」「ヘッダ・ガブラー」「棟梁ソルネス」「小さなエイヨルフ」「ヨーン・ガブリエル・ボルクマン」「私たち死んだものが目覚めたら」など、イブセン演劇の全体像を知ることのできる決定版。

A5版 定価：本体価格 6000円 + 税

ホルペア、イブセン  
ストリンドベリ、そして現代

毛利三彌著 対話形式による初の北欧演劇入門書。18世紀の喜劇作家ホルペア、19世紀演劇の巨匠イブセン、20世紀演劇のさきがけストリンドベリを初めとし、現代作家を社会的背景や劇場史とともに紹介する。

B6版 定価：本体価格 2200円 + 税

東海大学出版会

〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名3-10-35 東海大学同窓会館内  
Tel.0463-79-3941 Fax.0463-69-5087

http://www.press.tokai.ac.jp/ ウェブPR誌「WebTOKAI」